

京都御苑ニュース

秋

季節のたより

中西甚五郎

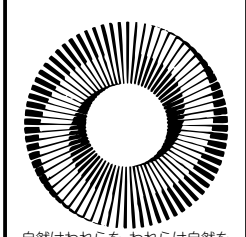


凝華洞跡のイチョウ

九月
間之町口や九條池周
辺などでは、花期が長
いことから百日紅とも
言われるサルズベリが

夏の名残を留めるか
のように咲いています。
しかし、賑やかだった
クマゼミやアブラゼミ
の声はしだいに静かに

なり、変わって鳴き始
めたツクツクボウシが
秋を予感させます。閑
院宮邸跡や凝華洞跡、
清和院御門周辺では秋
の七草の一つハギの仲
間が咲き、中旬になる
と苑内草地でヒガンバ
ナやツルボの花が立ち
上がり始めます。下旬
には、間之町口周辺や
中立売休憩所周辺、仙
洞御所西側苑地周辺で
キンモクセイやギンモ
クセイ、京都御所西側
や富小路広場周辺の樹
林では、秋に花を咲か
せるドンダリの仲間シ
リブカガシの花の香り
が漂ってきます。シリ
ブカガシのドンダリは、
磨くと光沢がでるため
子供たちに人気があり
ます。また、この季節、
日本で子育てを終えた
オオルリやキビタキな
どの夏鳥たちが越冬地



自然はわれらを われらは自然を
絶えまない人と自然
の連携を象徴するメ
ビウスの連環。これが
息の長い活動が期待
される自然保護のシ
ンボルマークに表現
されています。

発行人
〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地
☎075-211-6364
一般財団法人 国民公園協会
京都御苑 加藤博之
編集
白川書院
監修
環境省京都御苑管理事務所
本紙は再生紙を
使用しています。



マップ作成：栗山彩子

を目指し南下していく
旅の途中、御苑に羽根
を休めに立ち寄ってい
くのが観察されます。
野鳥の観察ポイント
建物周辺や神社周辺な
ど樹木がまとまって植
栽されている箇所は
緑など環境の変化のあ
る場所ですが、初めて
の方は御苑東北部に位
置する母と子の森にあ
るバードバスが観察し
やすいです。母と子の
森には、バードバスの
他、自然に関する図鑑
などが収納されている
野外図書館もあり、天
気のよい日には近くに
ある卓ベンチに腰掛け
て、森の中の読書を
楽しむこともできます。
十月
十月に入ると色づき
始める木々も見られる

ようになりませんが、本
格的な紅葉は十一月に
入ってからです。秋
は爽やかな季節、ギンナ
ンやドンダリなど様々
な木の実も成熟してき
ます。御苑には様々な
種類のドンダリがあり、
丸くて大きなドンダリ
のクヌギは母と子の森
に、備長炭で有名なウ
バメガシは外周堤塘上
に、皮で覆われている



母と子の森の紅葉と森の図書館

ようなスタジイは児童
公園北側や富小路広場
北側などにあり、種類
ごとに形や大きさがわ
かっています。また、明治
天皇の産屋が残る中山
邸跡や宗像神社南側で
は、クロガネモチの大
木の果実が赤く色づき
その存在に気づきます。
下旬には児童公園北
側散策道沿いや拾翠亭

初、エノキやムクノキ
などの樹上で木の実を
採り、ピンズイは松林
の草地を歩きながら餌
を採っているのが見ら
れます。宗像神社北側
や出水の小川の東側芝
地内では四季咲きの十
月桜が小型で重弁の花
を咲かせ始めます。中
旬を過ぎる頃からは、
夏鳥と入れ替わるか
のように、冬越しのた
めにシベリアなど大陸
から日本にやってきた
ツグミやジョウビタキ
などの冬鳥、山から降
りてきたピンズイやア
オバトなどの漂鳥が見
られるようになります。
ツグミは渡ってきた当



母と子の森の様々な紅葉

色のコントラストが絶
妙な乾御門に入った北
側周辺などがあります。
その他苑内には一條邸
跡や学習院跡をはじめ
二十本近くのイチョウ
の巨木があり、葉をつ
けている時の黄葉も見
事ですが、地面にっぱ
いに黄色の絨毯を上げ
たかのような風景もま
た趣があります。御苑
の紅葉の中で、意外と
気づかないのが、京都
迎賓館の東側付近に
あるメタセコイアで

十一月
十一月に入ると本格
的な紅葉が始まります。
イチョウやエノキは黄
や黄に染まります。ケ
ヤキやエノキなどの高
木は外周沿いに、モミ
ジやサクラは松林の林
間に多くあり、苑内い
たる所で紅葉は楽しめ
ます。主な紅葉スポット
として、イチョウや
ケヤキ、モミジなど
様々な落葉広葉樹があ
る母と子の森、イチョ
ウの黄色とモミジの赤

「京都御苑歴史散策ツアー」の開始について

京都御苑一帯は平安
時代には里内裏や貴族
の邸宅が置かれ、江戸
時代にはおよそ二百軒
の公家屋敷が建ち並
んでいました。明治二
年の東京遷都後に多く
の屋敷が撤去されまし
たが、その後大内保存
事業（明治十年から同
十六年）により皇室苑
地として整備され、や
がて現在の国民公園と
なりました。

京都御苑に残る公家
町跡の一部は、貴重な
歴史的遺産として保
護・継承されています。
NPO法人京都観光文
化を考える会・都草は

昨年十月に「京都御苑
歴史研究会」を立ち上
げ、平成二十五年八月
二十五日にシンポジウ
ム「京都御苑の魅力
その歴史と自然」を
開催。さらに今年九
月からは毎週日曜日に
「京都御苑歴史散策ツ
アー」を開始いたしま
す。

「京都御苑歴史散策
ツアー」では市民や観
光客などたくさんの方
様に、御苑の歴史と自
然の魅力に触れていま
す。

京都御苑歴史研究
会・苑内ガイド研修
会・シンポジウム等の
開催にあたり、各分野
の方々からご指導とご
協力を賜りましたこと
を深く感謝申し上げます。
(NPO法人京都観光
文化を考える会・
都草 理事長)

京都御苑ガイド研修風景



「文久改正」絵図
内市歴史資料館蔵
(京都)

す。樹林の中から空に
向かってまっすぐ伸び
るその樹形とオレンジ
色の紅葉は、少し離れ
た京都迎賓館の西側辺
りから見ると西日に映
えます。

以上、御苑の秋のた
よりの一部をご紹介します。
十二月に入り深みを増
していきます。御苑の
秋を探しに是非ご来苑
ください。

(京都御苑管理事務所
庭園科長)

旧柳原邸跡

(同志社女学校発祥の地)

水口 征親

生徒数は十二名。そ
の翌年四月に「同志
社分校女紅場」と名
称変更し、九月には
「同志社女学校」と改
称、一八七八年（明治
十一）に京都御苑内の
旧柳原邸から二条邸跡
に移って自前の校舎を
持つことができました。
これが「同志社女子大
学」創立の起源で、京
都における最初のキリ
スト教主義の女子教育
の始まりといわれます。
旧柳原邸の跡地は、
現在御苑内にある京都
迎賓館の敷地に重なり
ます。
(都草 会員)

催 事 案 内

■平成25年京都御苑自然教室

初心者の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記の通りです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、秋の自然を観察しましょう。

秋の自然教室 “秋の御苑にふれよう”

11月17日(日) 9:30~12:00

主 催 環境省京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348
一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
TEL.075(211)6364

講 師 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。
内 容 秋の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

集合場所 京都御苑

受付時間 当日 9:00~9:20

参加費 保険料100円

その他 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があると便利です。



*以降の自然教室予定

冬の自然教室“冬の御苑にふれよう”

平成26年1月26日(日) 9:30~12:00

詳細は次号でお知らせします。

京都御所秋季一般公開

10月31日(木)~11月4日(月・祝)

入場時間 9:00~15:30

入口:宜秋門(ぎしゅうもん)

出口:清所門(せいしょもん)

清所門の最終退出時間は午後4時15分

照会先:宮内庁京都事務所 TEL:075(211)1211

「閑院宮邸跡」見学

京都御苑南西角の創建以来の場所に建つ、「閑院宮邸跡」。収納展示室では、京都御苑の歴史や自然の資料が展示されています。苑内散策の折に是非お立ち寄り下さい。

収納展示室 午前9時~午後4時(午後4時30分閉館)、入場無料
休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館)、年末年始

御苑の花暦

和名	開花期	主に見られる場所
ミヤギノハギ	7月~9月	児童公園、凝華洞跡東側付近
ヒガンバナ	9月中旬	御苑内の各草地
サザンカ	11月~2月	児童公園付近

会 員 募 集

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
年会費 ●普通会員 1,000円以上
●賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

会 員 へ の 特 典

1. 本会発行物をそのつど送付します。(御苑ニュースは会費収入で発行されています。)
2. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

■申し込み、問い合わせ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
住所 京都市上京区京都御苑3
〒602-0881 TEL.075(211)6364



ハゼノキ

昔はお役に立てたのですが、間之町口を入った所に大きなムクロジがあり、秋には黄褐色のキンカンに似た実をつけます。枝先に鈴なりになるのですが、誰かが持ち去るのでしようか、黄色の落葉の中から拾えるのはごく稀です。運よく拾えた果実の付け根には発達しなかった雌しべが蓋のようについていて、丸い実のアクセントとなっています。この部分を取り除いて穴を開け、唇を押しあてて吹くと、中の種子が回転してピロピロと鳥の鳴き声のように聞こえます。

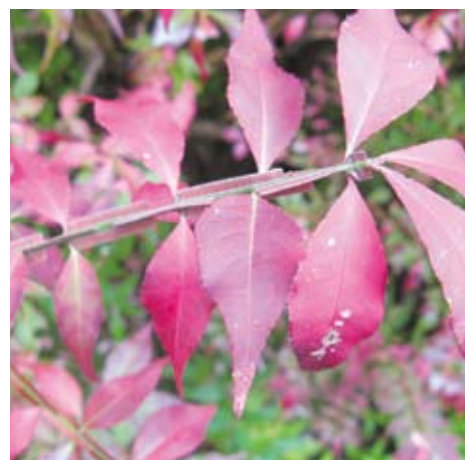
また、果皮を水に浸けておくと、含まれるサポニンによって泡立つことから、石鹸の木々の異名があります。平安の昔、公家屋敷でも洗濯や洗髪に重宝していたのでしようか。また、丸くて黒い種子は堅くて、羽子の羽根の玉にします。板の羽根の玉にします。きつと、昔はこのようにして人々の生活に役に立っていた木だったのですね。

御苑には全国からドングリの仲間が集まっています。これらの実を比べるのも面白いでしょう。母と子の森の北側には丸い実をつけるアベマキとクスギがあり、どちらも

インスタントラーメンの欠片をつけたような殻斗(帽子)が印象的です。アベマキの葉の裏は星状毛があるため白っぽく見えるので、光沢のあるクスギの葉と区別できます。中立売駐車場の東側にはドングリのおしりの凹んだシリブカガシがあります。マテバシイの仲間、近畿地方でも分布地は少なく、京都府では唯一の保津峡が北限となっていま

うか。また、丸くて黒い種子は堅くて、羽子の羽根の玉にします。きつと、昔はこのようにして人々の生活に役に立っていた木だったのですね。

石薬師御門を入ると深紅に染まったニシキギが出迎えてくれます。世界三大紅葉樹の一つです。カミソリの刃を刺したような枝も観察



ニシキギ

す。紫がかかった口吻物質に覆われたドングリが枝に鈴なりに落ちています。白雲神社の周辺にはピロッドのような殻斗をもったアカガシがあります。ロシアの毛皮の帽子を彷彿とさせます。京都府域では珍しく、日頃はなかなか目にしないドングリです。色とりどりの木々の葉

してみましょう。冬芽を避けてみごとに耐震補強をしています。紅葉といえ、中山邸の扉越しにハゼノキが覗いています。表面の紅色と裏面の白色がとももきれいです。すぐ横にはクロガネモチの大木に赤くて光沢のある実が毎年たわわについています。



カツラ

楽しんでみては母と子の森ではムクノキ、エノキの大木が黄色やオレンジ色に染まっています。ベンチに腰掛け、往々秋を散

りゆく落ち葉とともに味わいましょう。迎賓館の東の小道を南に行くと、トチノキが植えられています。落ち葉の中から褐色

色の果皮に包まれたクスのような実(種子)が見つかると、迎賓館の東南にさしかかると、甘い匂いがあたり一面に漂っています。(京都自然観察学習会)

カツラの落葉の匂いで、人によっては醤油の香りという人もいます。秋を香りでも愛でてみましょう。

「お茶しませんか?」

中島 文代

京都御苑にお茶室があるのをご存知でしょうか? 「拾翠亭」は間之町口を入った東側に位置する建物で、五摂家の一つであった九條

家の遺構です。現存する貴族の茶室としては数少ない中の一つで貴重な文化遺産です。三月から十二月までの毎週金曜日と土曜日

に一般公開されており、春・夏・秋の三シーズン、拾翠亭からの景色を満喫できます。「ゆつくりお茶でも頂きたいけれど...」お茶頂ける? など、お客様の率直なお声を受け、この四月~六月に簡単な呈茶ができる様になりました。九月は六日から始まり、金曜日、土曜日のひと時、公家の気分を味わってみませんか? 参観時間/九時三十分~十五時三十分(受付は十五時十五分まで) 参観料/百円 一服/六百円 (お茶菓子付)



拾翠亭からのぞむ秋の景色



各休憩所から通信 従来のメニューに加え、中立売北休憩所では、さば煮定食(さば、白ご飯・すまし汁・漬物)・カツ丼(豚カツ・漬物)、次に中立売南休憩所では、さば煮定食。

カツカレー(豚カツ・サラダ付)・ツナクリムスパゲティ、そして富小路休憩所では、さば煮定食・カツカレー(豚カツ・デミソース付)の販売を始めました。ぜひご賞味下さい。

お知らせ ◎皇室カレンダー平成二十六年度版は九月中旬頃から販売の予定です。(一財)国民公園協会 京都御苑業務第二課 (課長)



さば煮定食



カツ丼



カツカレー